

「北信地区図書館教育研究大会を終えて」（事業報告）

飯水支部代表 飯山市立城北中学校 三井康幸

1 研究テーマ

「自ら学び、考えや思いを深めるための教科領域と学校図書館との連携のあり方」

2 公開授業・授業研究会

会場校	授業学級・授業者	教科・単元名	指導者
飯山市立 秋津小学校	5年 黒岩 瑞樹 教諭	国語「作家で広げるわたしたちの読書 —子ども司書として、学校や地域の人に作家の魅力を伝えよう—」	北信教育事務所 水野 真澄 指導主事
飯山市立 城北中学校	3年1組 水野 力 教諭	特別活動「全校でビブリオバトルを しよう」	北信教育事務所 水野 真澄 指導主事

3 講演

- (1) 演 題 「信州地域史料アーカイブ紹介・活用講座」
- (2) 講 師 宮下 明彦 先生（長野県図書館協会顧問）

4 参加人数 小学校9名 中学校22名 計31名

5 まとめ

【秋津小学校会場】

「子ども司書」として校内や市立図書館で作家やその作品を紹介する活動などを通して、より図書館との関わりを広げてほしいと願い、「作家で広げるわたしたちの読書」という単元を構想した。本時は、作家や作品の魅力を表すキャッチコピーを考える場面で、設定・テーマ・表現の三つを観点に友達と話し合い、作家や作品についての自分の考えを広げることができた。

【城北中学校会場】

例年行っている文化祭での全校ビブリオバトルに向けて、各学級でチャンプ本の選考会を行った。そして、学年内ビブリオバトルに備えて、学級内でアドバイスや感想等を共有する場面であった。紹介された本のおもしろさを深掘りするために質問が出されたり、学年内ビブリオバトルに向けて「前を向いて発表できたらもっとよい」などアドバイスしたりする生徒の姿があった。市立図書館の館長様にも参加していただき、学校図書館を活用した授業を参観していただくことで、貴重な情報交換の場となった。

【講演会】

宮下先生の講演会では、平成25年から郷土史研究者の協力を得て始められた「信州地域史料アーカイブ」のご紹介と活用についてご講義していただきました。図書館等で保存されている信州の災害や教育関係等の貴重で有用な史料をデジタルアーカイブして、アクセスした誰もが使えるようにしたものです。デジタル資料の活用が少しずつ定着してきた今、今後さらに授業での活用が期待されると思われる。



【全体を通して】

2つの会場校が離れていて移動に時間がかかることもあり、午前中に小学校（授業と研究会）、午後に中学校（授業と研究会）と講演会を設定した。そのせいがあるいは北信北部という学校所在地のせい、特に小学校への参加者が少なく残念であった。